

特定非営利活動法人再生医療推進センター一臨時理事会議事録

- 1 日 時 2018年9月15日
16時00分から18時15分まで
- 2 場 所 井上クリニック会議室
(京都市下京区四条町烏丸西入函谷鉾89 函谷鉾ビル 5F)
- 3 出席理事数 14名(うち委任状出席者数 6名) 理事総数 20名
- 4 審議事項
第1号議案 特定認定委員会の設立の件(定款細則、委員会規程などの承認の件)
第2号議案 ALS患者様の対応・評価(HPでの扱い)の件
第3号議案 アルツハイマー型認知症、パーキンソン病への対応・評価の件
第4号議案 HPの改訂(役員、会員名簿の刷新、定款のチェック)
第5号議案 認定法人取得についての件
第6号議案 新理事候補の承認の件(出席理事の2/3の同意に基づく)
第7号議案 臨時総会の開催の件(出席理事の2/3の同意に基づく)
第8号議案 議事録署名人の選任の件(出席理事の2/3の同意に基づく)
第9号議案 副理事長の互選の件(出席理事の2/3の同意に基づく)

5 議事の経過の概要及び議決の結果

特定非営利活動法人再生医療推進センターの理事会において、上記の通りの14名の理事が出席した。理事長井上一知は、本日の理事会は理事総数の2分の1以上の出席があったので有効に成立した旨を告げ、開会を宣言した。

議長を選出すべく、全員で互選したところ井上一知理事長が選ばれ、本人はこれを承諾し、議長席に着き、16時00分、特定非営利活動法人再生医療推進センターの理事会の開会を宣言し、議事に入った。なお、第6号議案、第7号議案、第8号議案、第9号議案について議長より提案があり、審議の結果、全員一致で承認し、本理事会で審議することとなった。

第1号議案 議長は細則案及び特定認定再生医療等委員会規程案(資料No.915①-915②-915③-915④)を示した。採決に際し、メール迅速審査と迅速審査は合体したらどうかとの意見があったが、性質の異なる審査であり、原案通りとした。その後、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第2号議案 議長は、ALS患者さんの対応・評価について審議した。現在HP等を通して14件ほどの治療の相談があり、なんとか迅速に対応すべく、その告知内容について審議した。その結果、2ヶ月ぐらいをめどに体制を整えて(例えば特定認定再生医療等委員会の設置等)、治験から治療へと進めていく方針である旨を告知すると案にまとめられた。その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第3号議案 議長は、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病への対応・評価について医療法人財団康生会武田病院特定認定再生医療等委員会にて研究・治療提供計画が承認され、いよいよ治療提供が可能となるが、については患者様の選定基準を決めておくことが必要(患者様の選定は本センターに任されている)であり、その基準策定について審議した。その結果、理事長の指導の下、両疾患の専門医である重松理事を中心にその基準を作成し、

理事会の議をもってあたるとの案に集約され、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第4号議案 議長はHPの改訂について定款等を含めて意見を求めた。定款には変更が望ましい箇所（例えば所轄庁の名称変更など）があるが、緊急性は要せず、まずはNPO法の変更に伴う告知の方法を優先すべきであるとの意見が出された。議論の末、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。なお、告知の方法に関する定款変更は、第7号議案にて審議した。

第5号議案 議長は認定法人取得について2018年度内に申請手続きを進めることを提起し、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第6号議案 新理事候補の承認の件 議長より新理事候補の承認に関する提案があり、出席理事の2/3の承認が得られ議案とした。その後、議長より、小倉卓（京都中部総合医療センター副院長・整形外科部長・脊椎脊髄病センター主任センター長）氏と高山成吉（医療法人勢成会井口野病院理事長）氏が新理事として紹介され、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第7号議案 臨時総会の開催の件について、議長より提案があり、出席理事の2/3の同意が得られた。その後、議長より、「NPO法の改正に伴う貸借対照表の公告方法」を定款に明記するために、定款変更をする手続きとして臨時総会を2018年9月26日（水）に開催する必要性が説明された。その承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。臨時総会は9月26日に開催することとした。

第8号議案 議事録署名人の選任の件 議長より提案があり、出席理事の2/3の同意が得られた。議長より、大熊藍子、篠原茂生が候補として提起されその承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第9号議案 副理事長の互選について理事長より提案があり、出席理事の2/3の同意が得られた。審議の結果、本センター理事の大熊藍子、角昭一郎、守屋好文の3名が承認され本案は可決された。

議長は、以上をもって特定非営利活動法人再生医療推進センターの理事会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（18時15分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は、次に署名押印をする。

2018年9月19日

議 長 井上一知

議事録署名人 大熊藍子

同 篠原茂生

